

平成27年6月28日
執 行

大磯町議会議員選挙(定数14人) 選 拳 公 報

大磯町選挙管理委員会

明日の大磯へつなぐ

まちづくりの主体はこの町に住む人たちです。
三沢たつおは、「空き家対策」、「次世代の定住対策」、「防災・減災対策」を中心に、
経験をもとに、住民の皆様の生活を第一に考えた活動をしてまいります。



三沢たつおの政策

まちのこし 今ある形を残しながら未来を考えていく…

- ・海と山。この二つの自然からの恵みを大切に、環境問題に取り組みます。
- ・先人たちの残した景観を守るために、文化資源の保存・活用を進めます。
- ・空き家を活用して移住の促進に取り組みます。

次世代の定住対策 明日の大磯へつなぐ…

- ・移住した方が、定住するために、子育てや教育での支援を進めます。
- ・町内で起業する人のため、コミュニティビジネスの支援体制を整えます。

防災・減災対策 安心して住み続けるために…

- ・防災計画の見直しや、ハザードマップの見直しを進めます。
- ・大切な家族の一員であるペットの同伴避難対策に取り組みます。
- ・災害時、地域で助けあうための防災組織の育成・訓練の実施に取り組みます。

三沢
たつお
(62歳)

略歴
平成14年 平成3年 昭和52年
大磯町議会議員初当選
東京芸術大学卒業 大磯町長就任

町民本位 は、絶対ゆずれない！
本当に住みよい大磯町をつくるために、
全力を注いで、がんばります。

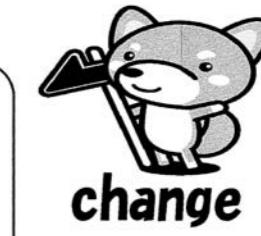


この4年間の議会は、「町民本位」といえるだろうか？

- ・借金を16億円増やし170億円に。
- ・介護保険料の基準額が県内町村でトップに。
自転車1台駐輪に31万円もかけて駐輪場整備。
- ・津波が懸念されているのに海岸近くに保育園「サンキッズ大磯」をそのまま立替え。

駐輪場の用地を有効利用すれば、駅前に保育園と駐輪場が完備した「子育てしやすい町」になったはず。

議員は一般質問さえせず、もちろん反対など誰もしていない。



しぶさき 茂
しげる
検索

経歴
昭和32年 大磯町長者町生まれ 58歳 B型 ふたご座
昭和55年 学習院大学経済学部経営学科卒業、証券会社勤務を経て
平成11年 7月 大磯町議員当選 3期11年
平成22年 12月 大磯町長選に出馬

ワークシェアによって大磯町 若い世代の魅力ある町づくり

大磯町には女性(30~45歳)の勤め先がない！
よって年間23億円の給与を支払っている役場を
シェアすれば！

現在 → 850万円/年 × 270人 23億円

20年後 → 800万円/年 × 50人 4億円
(管理職(町長他)×30人)
専門職(消防)×20人)

250万円/年 × 300人 7.5億円
(女性(30~45歳)週4日、年間200日)
(男性(60~75歳)週4日、年間200日)

合計 11.5億円

大磯町の収入と支出を見張ります！

【収入について】

- ・大磯町には法人税収入(1億円/年)しかありません！

・大口の固定資産税収入が見当たりません。

【支出について】

- ・駅前駐輪場に20億円(20年間)無駄遣い。

・運動公園に60億円(完)

・大磯小学校校舎建築に50億円(差し止め)

地元、建設、土木、商工業者の育成！

(町内の業者に優先して発注する)

平時 → 消防団活動等。

災害時 → 重機、人材の供出。

砂利港の転換！

・50年間1円も入金なし！百害あって一利なし。

・大磯郵便局前の横断歩道を復活しましょう！

・大磯町の観光の核にしましょう！

二宮町、平塚市と行政合併！

・二宮ラティアン、大磯城山、運動公園、大磯港の活用！

・平塚総合公園の活用！人材交流！

・消防救急活動の統合化！(現在5億円が2億円に減額)

プロフィール
10代 大磯中学校卒業、平塚江南高校卒業
20代 明治大学文学部卒業、神奈川県伝中郡代表
30代 町商工会青年部部長、町観光協会理事
40代 大磯小学校、中学校PTA正副会長
中郡PTA連絡協議会会長
50代 町消防団第11団分団長、町商工会理事
平塚法人会大磯支部長、左義長保存会会長
60代 平塚法人会監事



無 所 属

飯 田 修 司
いい だ じゅうじ

投票日

6月28日(日)

午前7時から午後8時まで

インターネット速報サービス

投票時の投票率や開票時の開票率、得票
数をホームページでお知らせします。

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/>